アクセスルールごとのヒットカウントを表示するためのFiresight Management Centerの設定

内容

概要

このドキュメントでは、カスタムワークフロー/イベントビューアページを設定して、アクセスルール名ごとの接続ヒットカウントを示す方法について説明します。設定は、ヒットカウントに関連付けられたルール名フィールドの基本的な例と、必要に応じて追加フィールドを追加する方法を示します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- FirePOWER の知識
- Firesight Management Center内の基本的なナビゲーションに関する知識

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- Firepower Management Centerバージョン6.1.X以降
- マネージド脅威防御/火力センサーに適用可能

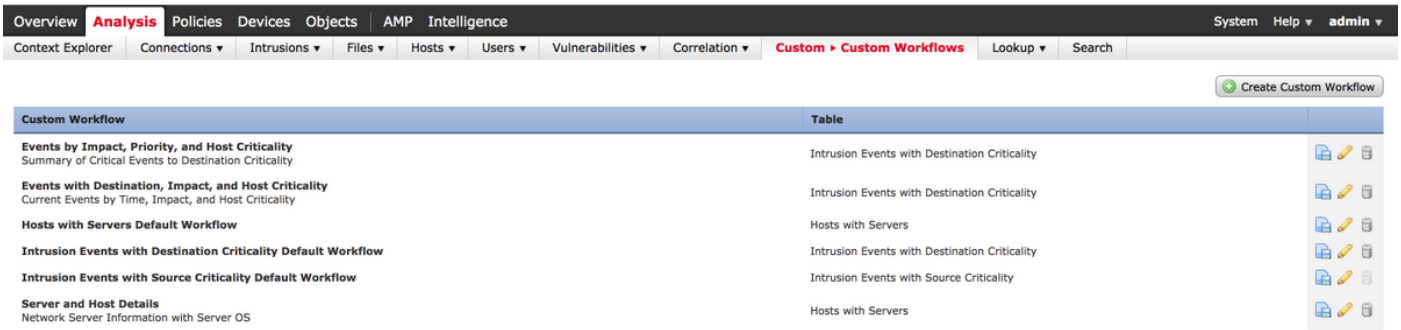
このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

設定

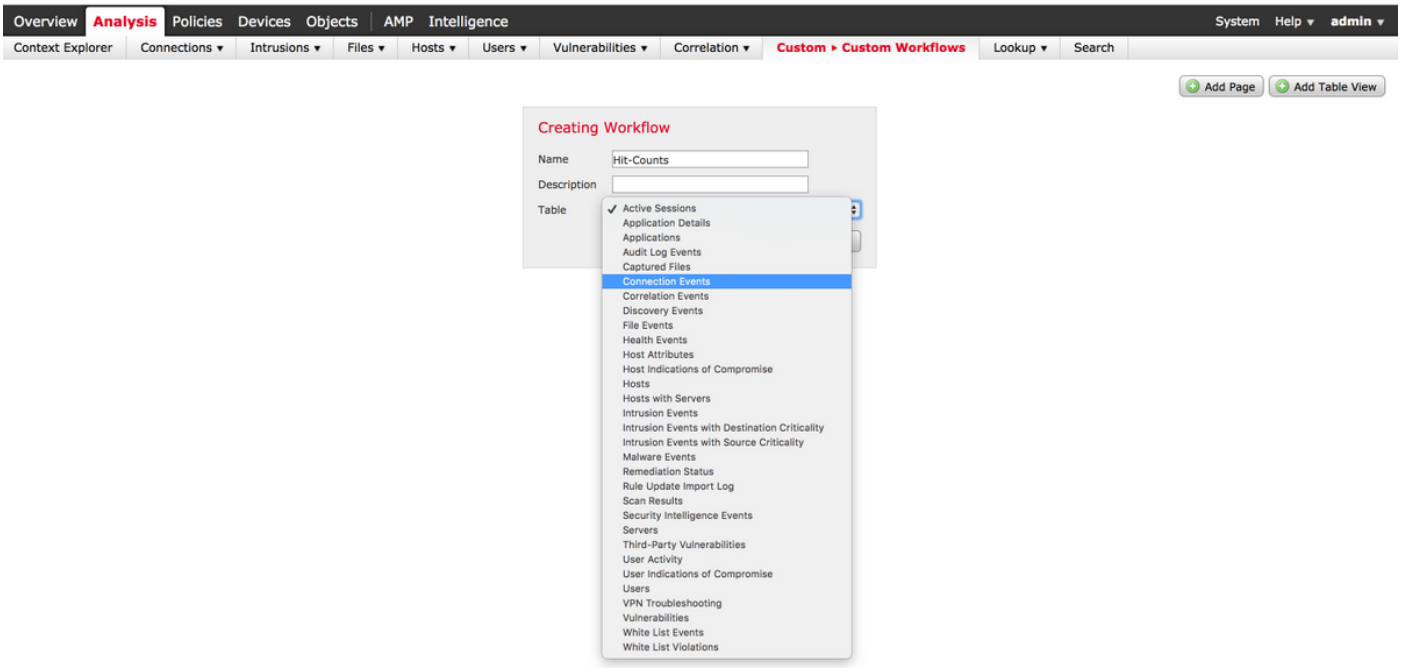
設定

ステップ1：管理者権限でFiresight Management Centerにログインします。

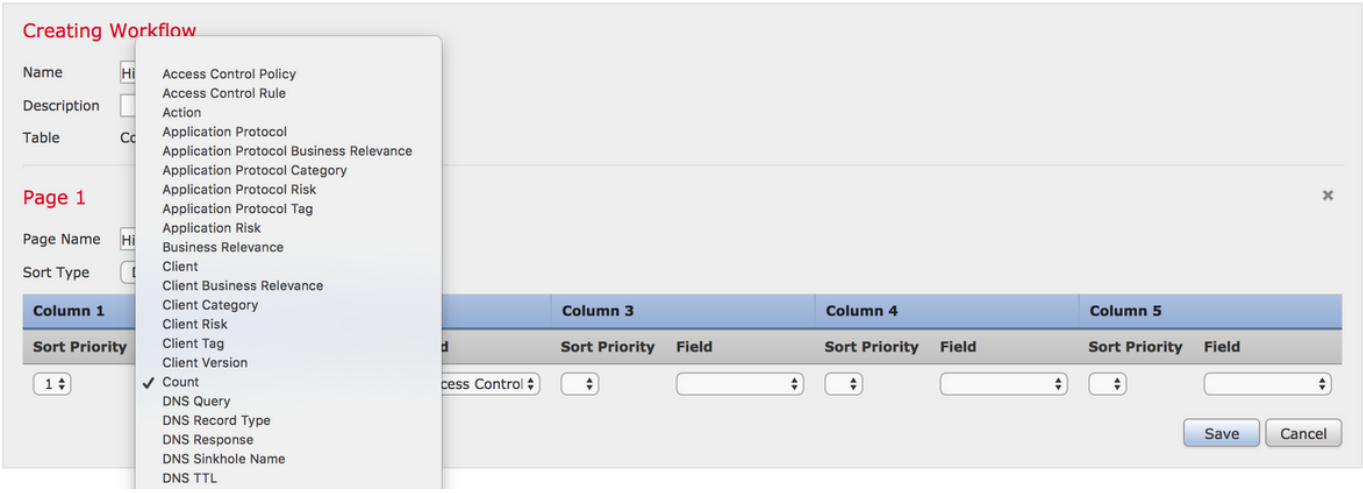
ログインが正常に完了したら、図に示すように、[Analysis] > [Custom] > [Custom Workflows]に移動します。



ステップ2:[Create Custom Workflow]をクリックし、図に示すようにパラメータを選択します。



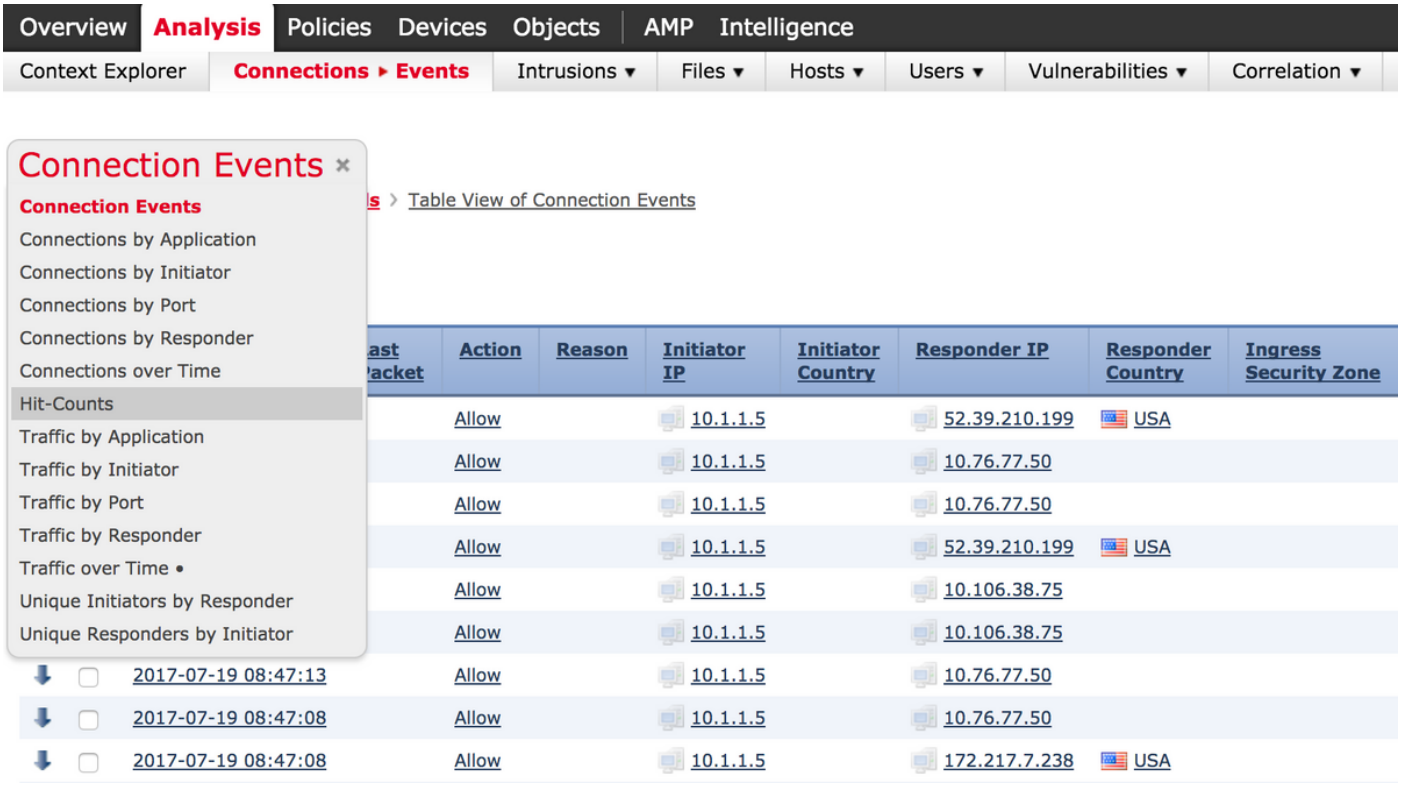
ステップ3:[Connection Events]というテーブルフィールドを選択し、ワークフロー名を入力して、[Save]をクリックします。ワークフローを保存したら、次の図に示すように[Add Page]をクリックします。



注：最初の列は[カウント(Count)]にする必要があり、追加の[列(Column)]では、ドロップダウンから使用可能なフィールドから選択できます。この場合、最初の列はカウントで、2番目の列はアクセスコントロールルールです。

ステップ4：ワークフローページが追加されたら、[保存(Save)]をクリックします。

ヒットカウントを表示するには、図に示すように、**[Analysis] > [Connections] > [Events]に移動**し、**[Switch Workflows]**をクリックします。



ステップ5：図に示すように、ドロップダウンから、作成したカスタムワークフロー（この場合はヒットカウント）を選択します。

確認

現在、この設定に使用できる確認手順はありません。

トラブルシュート

現在、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。